



イラク：治安情勢

(1月13日付現地各紙)

1月12日午前にバグダッド市内で実施されたイラク治安当局による嚴重警戒態勢に関する報道（取り纏め）。

1. 12日早朝、治安部隊が各県からバグダッド市内に入る道路を封鎖し、市内への出入りを禁止するとともに、バグダッド市内の各地区及び近隣で部分的な通行禁止が課せられた。また、出勤途中の人々や学生は、通行禁止が解除されるまでは帰宅して、自宅で待機するよう求められた。
2. 12日午後、閣僚評議会は治安計画を協議し、治安措置の実施について記者会見を行った。
 - (1) アリー・ダッバグ首相報道官の発言
 - (イ) 閣僚評議会は、バグダッド県内で適用される治安措置、住民や政府施設を狙ったテロ集団による脅威、住民を守るために治安部隊が有効な措置を講ずる必要性について協議した。
 - (ロ) テロ行為や殺人を防ぐためには治安部隊への住民の協力が必要であり、閣僚評議会は、テロリストの逮捕及び住民保護のため、部分的な（住民の）移動を禁止すること、（安全）検査手続の厳格化及び監視に対する住民の理解を求めている。
 - (ハ) バグダッド県内の様々な場所で実施される治安措置は、政治的側面や（特定の）立候補者を選挙から遠ざける問題とは無関係である。
 - (二) 12日にバグダッドで実施された治安措置は、武装集団及び自動車爆弾の存在（に関する情報）への対策であり、政治的波紋とは関係がない。（現在巷で出回っている）噂の意図は住民に対する嫌がらせであり、（それに対して）住民の保護と安全の向上を目的として迅速な予防措置が取られた。一部の治安措置で住民の移動を阻害したことはお詫びするが、治安部隊は最大限好意的な対応をしている。一部のテロ組織は、治安部隊に対する住民の信頼を揺るがせようとしている。

(2) カーセム・アター・バグダッド作戦司令部報道官の発言

12日朝にイラク軍及び警察がバグダッド市内各所で実施した作戦により、25名を逮捕、TNT 200Kg、C4 200Kg、ニトロ 250L、迫撃砲弾 60発を押収した。

2. ハーシミー大統領、サーレハ・ムトラク議員の暗殺計画、及びサーレハ議員によるクーデター計画

12日、イラク人の間では数十台の自動車爆弾がバグダッド市内に侵入したとの噂のほか、ハーシミー副大統領及びサーレハ・ムトラク議員の暗殺未遂事件、及びサーレハ議員によるクーデター未遂事件があったとの情報が錯綜した。これに関して同副大統領事務所、及びサーレハ・ムトラク議員は、いずれも事実無根としている。

3. 国外のバアス党による陰謀説

(1) アリー・アル・ディーブ議員の発言

(イ) 最近、旧政権のバアス党員分子が幾つかのイラク隣国の首都で、イラクの次期国会選挙を失敗させ、或いは選挙に何らかの影響を与えて、混乱を引き起こす方法を議論する為の会合を開いた。

(ロ) 政府が得た情報によれば、一連の秘密会合では、国会選挙の妨害が失敗した場合、どのように国会でクーデターを起こすか、国会選挙を妨害した場合、旧政権のバアス党員がどのように次期国会に進出するかが議論された。

(ハ) 可能なすべての権力を動員させて、また、諜報機関を強化させることで、こうした計画を阻止せねばならない。

(2) 別の国会議員の発言

イエメンのアル・カーイダは、サナアに潜伏する旧政権のバアス党員の支持を得ており、複数の自爆テロ犯をイラク隣国の支援を得てイラクへ侵入させ、選挙間際にテロを実行するとの計画がある。